

Award Honorees

受賞者紹介



Honorees List

第25回 文部科学大臣賞・米国ボランティア親善大使とSPIRIT OF COMMUNITY 奨励賞

文部科学大臣賞

— 中学生部門 —

名古屋市立新郊中学校
宮原 りあさん

東海・北陸ブロック
愛知県

コロナ禍で多くの人がステイホームするようになり、「動物を飼い始めたが簡単に捨てる人が後を絶たない」というニュースを目にした。自分の勝手な都合で命を簡単に捨てるなんて考えられないと思った。自分の飼っていた犬が亡くなったときにお世話になったお寺に「お供えされたペットフードのおさがりをいただき、動物愛護センターへもっていき、動物たちの命につなげたい」という企画書を提出。その内容が通り、毎月届けている。きっかけは自分の犬が亡くなったとき、母が私を動物愛護センターへ連れて行き、命の大切さを教えてくれたことだ。

— 高校生部門 —

自由学園高等科・中等科
つなげる輪

首都圏ブロック
東京都

生徒のプレゼンによって、主に保護者の方に寄付していただいた道具や学校の設備を利用しておにぎりを作り、池袋に運んでNPOの方の協力の下、路上生活者や生活困窮者の方に届ける活動をしている。頻度は1～2ヶ月に一回程度行っており、今年の7月で活動を始めて1年が経過した。参加者は呼びかけによって集まった生徒たち有志で、毎回15人程度で行っている。今後は路上生活者だけでなく、他のアプローチからも社会を知ることができたら良いと思っている。また他の生徒も参加できるように活動をつなげる役割も果たしていきたい。



米国ボランティア親善大使



自由学園高等科・中等科 つなげる輪
中村 侑人さん

首都圏ブロック 東京都

生徒のプレゼンによって、主に保護者の方に寄付していただいた道具や学校の設備を利用しておにぎりを作り、池袋に運んでNPOの方の協力の下、路上生活者や生活困窮者の方に届ける活動をしている。頻度は1～2ヶ月に一回程度行っており、今年の7月で活動を始めて1年が経過した。参加者は呼びかけによって集まった生徒たち有志で、毎回15人程度で行っている。今後は路上生活者だけでなく、他のアプローチからも社会を知るということができたら良いと思っている。また他の生徒も参加できるように活動をつなげる役割も果たしていきたい。



岡山県立倉敷古城池高等学校 ワッショイ！とーかーず！子ども食堂
吉田 由良さん

中国・四国ブロック 岡山県

自分たちの取り組みは大きく2つ。1つ目は子ども食堂のボランティアで、普段は運営の補助をしているが、年3回の高校生企画の時は、メニュー決め・買い出し・調理・お楽しみ会・勉強会等を自分たち高校生が企画運営している。2つ目はフードバンクと雑貨バンクを組み合わせたソーシャルバンクの活動。コロナ禍で困っている家庭の声を聞き、新たに物資を集積し分配する仕組みを作り、子ども食堂を通じて届けている。今後も子ども食堂のボランティア活動が継続できるように、自分たち世代の活動内容を後輩に伝えるため「活動記録ノート」を作成している。



SPIRIT OF COMMUNITY 奨励賞

— 中学生部門 —



宇都宮市立晃陽中学校
晃陽中学校 特別支援学級

北関東・信越ブロック 栃木県

教室や建物の入り口に置く「足踏み式の消毒液スタンド」を、特別支援学級の生徒たち（令和2年度は3名、令和3年度は8名）で製作している。主に自立活動の授業（週2時間）の中で製作し、これまでに合計120台作った。昨年10月以降製作した約80台は、約50の学校や公共施設・病院・事業所・店舗などに寄贈した。このことは地元の新聞やテレビでも紹介され、材料の提供・協力を受けながら、現在も更に製作活動を続けている。これからは使っている人の意見を聞いたり、故障があれば原因を調べたりして、更に良い物になるように工夫していきたい。



さいたま市立植竹中学校
植竹中学校 ユース・ボランティア・サービス部

首都圏ブロック 埼玉県

2021年4月に特別支援学級の仲間たちでユース・ボランティア・サービス部を設立。先生方と相談し、活動内容を考え、SDGsの取り組みをすることにした。主な内容は「不要な紙や新聞紙を利用したサステナブルバッグの作成と地域への還元」、「地域の方々との交流」、「コンタクトレンズケースの回収の啓発活動」、「植物の栽培によるグリーンカーテン」など。また『世界の子供たちとの交流作品展』も開催した。今後の活動としては、パラリンピックの影響もあって以前より注目が集まっているボッチャを地域の方々に広め、一緒にやりたいと思っている。



京都市立花背小中学校
花背を紹介！ちまきプロジェクト

関西ブロック 京都府

花背（はなせ）地域には昔からチマキザサが自生しており、祇園祭の厄除けちまきなどに利用されてきたが、鹿の食害等で激減した。そこでチマキザサを救うことを決意し、プロジェクトチームで花背やチマキザサのことを伝えるための広報誌の作成や、和菓子のちまきの販売会開催などを、できるだけ子どもだけで行っている。学校内のチマキザサの管理や厄除けちまきづくりの伝授も行い、この活動はSNS等で広報

している。今後はWEBでちまきを販売したり、全国の方に私たちのチームやチマキザサのことについて知っていただく活動をしたい。



基山町立基山中学校

CLEANS

九州ブロック

佐賀県

「CLEANINGDAY 文房具おゆずり会」と称して、使わずに持っている文房具を回収し、次の必要としている方に“おゆずり”するイベントを行った。子どもが主催して活動する、子どもに寄り添ったイベントが少ないと思ったのがきっかけだ。授業などで学んだSDGsを考えると、CLEANINGDAYを定期的に開催すると、物を大切にする習慣がつくと考えた。企画書やポスター制作など、活動にあたっての作業はほとんどCLEANSの2人で行い、当日の運営には特に力を入れ、お客様の手指消毒や声掛け、文房具の消毒などの感染対策もきちんと実施して運営した。

— 高校生部門 —



秋田県立大曲農業高等学校

Be Blue

北海道・東北ブロック

秋田県

鳥獣害への対策は、農家がもっとも深刻に抱えている課題で、丹精込めて作った果実を食害されるため収穫量に大きく影響していた。この課題を研究テーマとして取り上げて、実験場である果樹園で調査研究を実施してきた。この課題を解決するためには多額の費用がかかることが問題だったが、自分たちが開発した「湯ノ花キット」を設置するなど、廃棄される地域資源を活用することで克服し、オリジナルな地域貢献に取り組むことができた。今後はブルーベリー栽培を低成本でできるよう、新たな資材を開発したいと考えている。



金沢大学附属高等学校

松尾 理夏さん

東海・北陸ブロック

石川県

石川県の小児患者や幼稚園児に加賀友禅の製作を体験してもらう活動を行っている。コロナ禍で辛い思いをしている子どもたちに、芸術創造に携わることで楽しさと癒しを得て、地元の「石川に暮らしていて良かった」と感じてもらうため、伝統工芸品の加賀友禅製作をゼロから企画した。また北陸最大の商業施設で、300人規模の加賀友禅疑似製作イベントを開催し、多くの人に石川の「美」を発信した。今後は全国の小児患者や幼稚園児に向けて体験イベントを拡大したり、海外の子どもたちにも石川の伝統工芸を楽しんで欲しい。



トライ式高等学院千種キャンパス

課題研究講座ボランティアコース

東海・北陸ブロック

愛知県

1人でも多くの子どもが温かい家庭で生活できるよう応援するため、里親制度について知ってもらいたいと思い活動している。里親制度に興味を持ったきっかけは、私たちの学校の先生が特別養子縁組で2人の女の子を家族に迎えたことだ。昨年は里親家庭を取材してまとめた動画を制作。動画は名古屋市の動画配信サイトで配信中だ。また女性が多く集まる美容院や飲食店を中心に、里親制度について書かれたパンフレットを配布している。今年度は新たに里親写真展を開催。里親家庭から募集した写真を展示して、里親制度をより身近に感じてもらいたいと思う。



関西ブロック

兵庫県

甲南高等学校

甲南高等学校ボランティア委員会

オンラインでの高齢者との交流、デジタルに不慣れな方へのサポートを主な活動としている。具体的には、高齢者と高校生が一対一で40分ほど日常の出来事について会話を楽しむオンライン交流会や、オンラインで行う高齢者対象の熱中症講座やフレイル予防講座、スマートフォンを最近使い始めた方にスマホの使用方法を伝授するスマホ講座などを行い、これらの活動後、参加者に医療関係者への募金を募った。普段交流する機会があまりない高齢者とのマンツーマンでの会話は興味深く、私たちにとってもプラスの要素がとても多いと感じている。